

平成 24 年度 第 1 回 亀岡市バリアフリー基本構想（千代川駅周辺地区）
策定検討協議会 会 議 録（要旨）

日時：平成 24 年 12 月 27 日（木）

場所：亀岡市役所 2 階 202・203 会議室

14：00～16：00

1. 開会

2. 副市長あいさつ

3. 委員の紹介

4. 議題

(1) 会長及び副会長の選出について

- ・ 会長選出について事務局からの提案を求める声あり。事務局より吉中委員を推薦。異議なしの声あり、一同了承。
- ・ 会長より湯浅委員を副会長に推薦。異議なしの声あり、一同了承。

(2) 亀岡市バリアフリー基本構想（千代川周辺地区）の策定について

(3) 調査対象地区の概況について

事務局 (資料説明：資料 3、資料 4)

会 長 策定趣旨、調査対象地区の概況について意見ををお願いしたい。

委 員 資料 4 の P. 9⑤について歩道上に突然、柵があるのはなぜか。

委 員 水路があり、それを塞ぐために鉄板を置き、柵で囲っている。
水路の所有者等を確認した上で、どのような対策がとれるのか検討していきたい。

副会長 現状説明は駅の西側や国道 9 号線沿いが中心となっている。西側は平成 18 年～19 年に整備して改善されている。東側は未整備であるのに関わらず、現状が整理されていない。東側についても現状を整理していただきたい。

事務局 バリアフリー基本構想は公共的な施設など施設間経路のバリアフリーを基本としている。駅の東側には公共的な施設などがほとんどないため、今回は現況整理を行わなかった。
東側が未整備であること、東口の駅前広場に関する要望は十分に認識している。

会 長 東側についての現況整理もお願いしたい。

委 員 川東方面からは、月読橋を通過して東口へのアプローチが多い。駅西側の国道へのアクセスと同様に月読橋から東口への動線を明確にしておいた方がよいと思う。

事務局 通学路であり、人が多く通ることも踏まえて、東側についても基本構想の中で一定の整理をしていく。東側の現況についてタウンウォッチングで説明したい。

委 員 東口の騒音が問題となっている。

- 事務局 現在は、車が住宅街を回っているため騒音が問題となっている。駅前広場が整備されれば、解消されるのではないか。
- 委員 跨線橋の老朽化、冬場の凍結など危険を感じることもある。JRとして、今後どのような整備をしていくのか。
- 委員 平成32年までに整備を進めていく。時期や詳細については決まっていない。
- 委員 ホームが狭いなど多くの危険があることをご理解いただきたい。
- 委員 千代川駅はスロープもなく、また駅員が1人のため車椅子での乗り降りができない。現在、並河駅、亀岡駅まで行っている。平成32年までまたなければいけないのか。できるだけ早くバリアフリーにしていきたい。
- 委員 随時、取り組んでいく。
- 事務局 現状は十分に把握している。本構想を策定することから始まる。皆さんにご協力いただきたい。
- 会長 アンケート調査について事務局からの説明をお願いしたい。
- 事務局 (資料説明：資料5)
- 委員 どのようなルートを利用しているのかを把握することが重要。人が通る道、バリアフリーを優先すべきところなどルートを明確化できないか。問4ではルートがわかりづらい。地図に記入してもらった形でもよいかと思う。ルートを把握することで具体策につながっていくと思う。
- 副会長 調査対象は千代川町に住む500人でよいのか。川東4町についても調査すべきでは。南丹高校、農芸高校の学生など千代川町以外で駅を利用している人の意向も把握すべきではないか。
- 会長 問4、問5について、問4で回答した個々の施設について、問5を回答できるようにしてはどうか。
- 委員 問3「4. 一度にたくさんの移動が難しい」は一般的な表現か。「一度に長時間の・長い距離の移動」の方が伝わるのでは。
- 会長 自由記述にして日常的な不便さを質的に整理してはどうか。問3は一般の方を対象とするのであれば、選択肢を減らしてもよいのでは。「障害の有無」「自分でどこでもいける」「サポートが必要」などシンプルにできないか。
- 委員 問11は選択肢が18もある。もう少し整理できないか。
- 委員 各設問に自由記述欄を設けて、テキストを分析してはどうか。
問3は本人の移動のしづらさを質問しているが、介助者の立場から移動のしづらさを聞く設問があってもよいかもしれない。
- 会長 選択肢を4つ程度にし、残りを自由記述にすることも考えられる。
- 副会長 問2地区の並び順を12川関、13千原、14拝田、15日吉台、16クラウンハイム、17その他に修正いただきたい。
- 委員 調査票に地図を添付し、危険を感じる場所を記載してもらったらどうか。
文字だけだと誤解が生じる可能性がある。地図におとした方がわかりやすくなる

のでは。

副会長 問 13、14 について千代川の人はあまりバスを利用しない。
この設問にはどのような意図があるのか。バスの利用状況は統計等があるのでは。

会 長 千代川駅周辺の方でバスを利用している方はどの程度いるのか。

委 員 資料が手元にないため利用者数はわからないが、ふるさとバスの利用者が多くなっている。

事務局 公共交通機関がバリアフリーの対象となっており、項目として設けている。バスの利用しやすさ、乗降のしやすさ、バス停までのアクセスなどについて把握する必要がある。バス利用者数について調査するものではない。

委 員 バスの利用者が少ないから、バスに関する設問が不要とはならない。公共交通機関としてバスは重要であり、バスの利用しやすさに関するこの設問はあった方がよい。

委 員 一般の方がアンケートを受け取ってもあまり役に立たないのでは。調査対象を障害のある方、高齢の方に限定してはどうか。

事務局 バリアフリーの主な対象は障害のある方、高齢の方となるが、子育て中の方、自転車を利用される方など色々な方が対象となる。調査対象については再度検討したい。

バリアフリー基本構想は公共施設をはじめバス停、スーパー等の公共的な所やそのアクセス経路のバリアフリー化を促進するためのものである。千代川駅周辺でこのような場所にどのような問題があるのかを把握するためにアンケート調査、タウンウォッチングを実施していく。また、タウンウォッチングではアンケート調査では難しい、詳細な点を把握したい。

(4) その他

委 員 タウンウォッチングの日程はできるだけ早く連絡をいただきたい。

5. 閉会